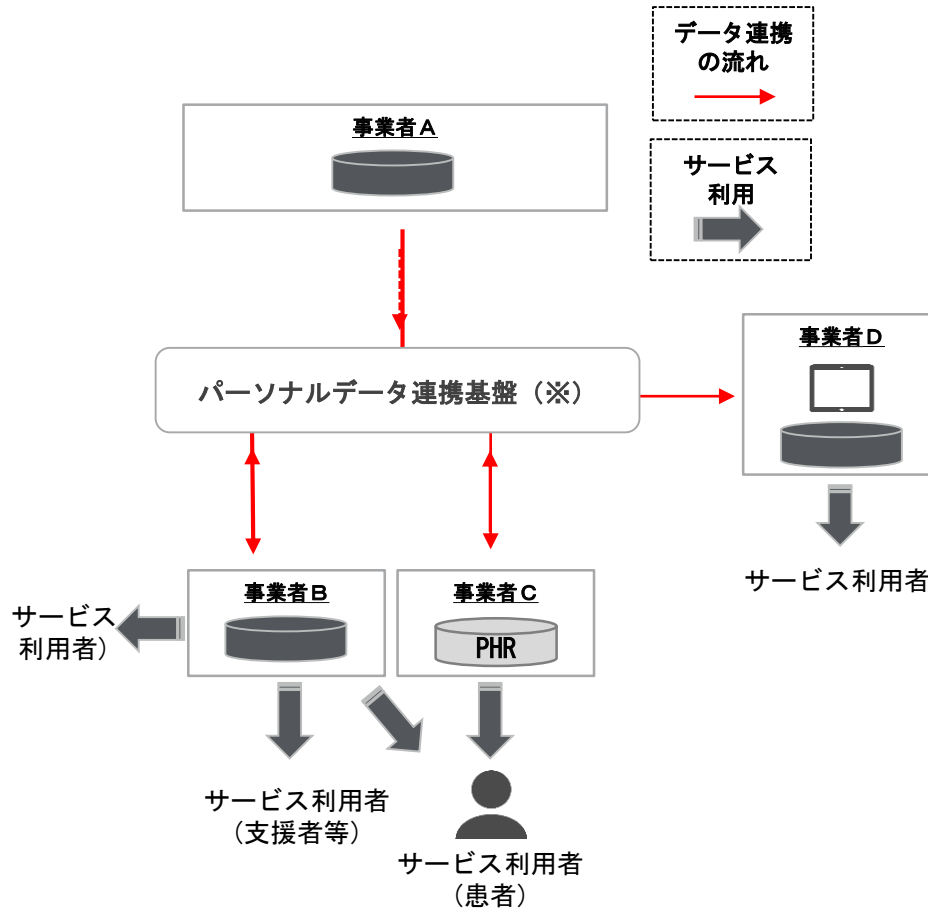


つくばヘルスケアデータ連携ユースケース創出調査業務委託の構成

(令和7年度当初予算：27,528,000円)

目指す姿：健康、医療、介護、救急（以下「ヘルスケア」という。）において共通する優先的な情報を、住民ニーズに応じたサービス提供にあたり、データ連携基盤を介して複数のサービス提供事業者間でデータを共有することにより、連携の欠如による無駄なサービス開発及び提供を予防でき、一元化された情報を基にしたヘルスケア関連サービスを横断的かつシームレスに住民にサービスを提供できる環境を構築する。

つくばヘルスケアデータ連携サービス創出（イメージ参考資料）



【ユースケース創出検討のイメージ（例）】

○複数のサービス提供事業者が管理するデータ接続
（例）4社想定接続

- ・事業者Aはデータ提供のみ
- ・事業者B及びCはデータ提供及び取込並びにサービス提供
- ・事業者Dはデータ取込並びにサービス提供

○データ項目（例）

- ・事業者A：救急、診療等における意思決定情報等
- ・事業者B：オンライン診療対応アプリ等
- ・事業者C：血圧等の日々の健康測定情報
- ・事業者D：救急隊活用ソリューション等

※パーソナルデータ連携基盤は令和8年度以降に構築予定

個人の健康状態やヘルスケアのシーンに応じた最適化された持続可能なサービスを創出する